

上山口小だより

かしこく・むかよく・たくましく

NO. 5

2021年7月19日

葉山町立上山口小学校

校長 田中 基

連日の雨が落ち着き、ようやく夏らしくなりました。

子ども達は、友だちが家から持ってきてくれた七夕の笹に願い事をつりました。「コロナが早く終わりますように…」多くの短冊に書かれていた願いは、大人も子どもも同じです。

今年度も様々な予定の変更がありました。まだまだ、予断を許さない状況ですが、通常通りの日程で夏休みに入ります。様々なご協力ありがとうございました。



(2年生作 トマト)

夏休みは本をよもう！



(「のどか森の動物会議」童話館出版)

テレビなどで海外の村の映像が出てくると、いつも頭の中に本のイラストが浮かんでいました。「昔読んだ本のような気がする…」とぼくぜん思っていました。図書館で調べてみると・・・ありました！

裏表紙には、頭に浮かんでいたイラストが描かれ、読み返してみると、内容も思い出してきました。

調べてみると、小学校5年生の時の課題図書。

夏休みに読んだ本を何十年たってもまだ覚えていたのです。

みなさんも、ぜひ夏休み中に本を読んでください。きっと大人になってもおぼえていますよ！

粗大ごみ収集場について

町クリーンセンターの改修工事に伴い、8月より、大沢橋入り口より約50m 木古庭より北側に粗大ごみ収集場ができます。通学路でもあり、次のような安全対策がとられる予定です。

- ・収集業者は、就業前に免許証の点検と、アルコール確認を行う。
- ・登校時間の搬出入は行わない。また下校時間を把握し最大限注意するとともに、できれば避ける。
- ・大型車は左折侵入しない(巻き込み防止)。また、出入り時は誘導を行う。
- ・一般車両の収集は完全予約制で、予約時に下校時間についての周知・注意を行う。

卒業生の方より、コロナ対策及び理科教材費として、ご寄付をいただきました。大切に使用させていただきます。活用については、追ってご報告いたします。

ありがとうございました

8, 9月の主な予定

* 予定は変更になることがあります

- ・8/10(火)～13(金) 学校閉校日
- ・9/9(木) 引き渡し訓練
- ・9/1(水) 2学期始業式(短縮3時間授業)
- ・9/22(水) 1,2年遠足
- ・9/3(金) 給食開始(短縮4時間授業)
- ・9/23(木・祝)～24(金) 5年キャンプ
- ・9/6(月) 避難訓練・学級懇談会(2,4,6年は15:00～ 3,5年は15:20～)

* 2学期より、夕17:30から朝7:45までは、留守電設定になります。ご承知おきください。

「ふたばの子」について

終業日に「ふたばの子」を配布いたします。各項目の評定は、次のようになっています。

○1・2年生は2段階 ○できています【8割以上】、△がんばりましょう【8割未満】

* 1年生は1学期の評定はなく、所見のみの記載です。

○3～6年生は3段階 ◎よくできています【9割以上】、○できています【8割以上9割未満】、△がんばりましょう【8割未満】

(3) たけるさんたちは、博物館の次に城へ行きます。
城へ行く前に、博物館から城までの道のりと時間をインターネットで調べました。
博物館から城までは1600mで、20分間かかるようです。
次の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、たけるさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。



たける

博物館から城までは1600mで、20分間かかるようです。



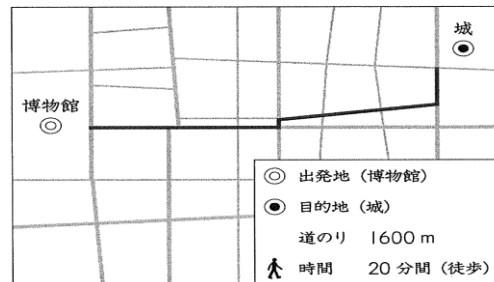
ほのか

わたしが歩く速さと同じくらいの速さなのですか。



しおり

私たちは、500mを歩くのに7分間かかりましたよ。



	道のり (m)	時間 (分)
㊦ インターネット	1600	20
㊧ たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

㊦ インターネット $1600 \div 20 = 80$

㊧ たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊦のほうが速い。
- 2 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、㊧のほうが速い。
- 3 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊦のほうが速い。
- 4 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、㊧のほうが速い

上の問題は、6年生を対象に実施された全国学習・学力状況調査の一部です。

世界的には、PISAやTIMSSといった学力調査が有名で、しばしば、その順位が注目され報道されています。しかし、調査本来の目的は、子ども達が大人になる20年後や30年後に必要な力とは何かについて、各国の専門家が集まり、議論し、問題をつくり、これからの教育に生かして行くことです。

実際、これらの調査や研究は、学習指導要領（文部科学省がつくる、教科書や学校教育の基になるもの）にもいかされています。

今回の学習・学力状況調査の問題は、

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等を問う問題であるとの発表がありました。

情報があふれる現代において、その整理・分析能力や、課題解決能力、表現力が重要であると同時に、基礎・基本的な学力も確実に身に付けていく必要があるといえます。

葉山町では、「学びづくり研究推進連絡協議会」において「9年間を見通した育てたい子ども像」をつくり、小中学校が協力して、授業の研究を行っています。また、例年、夏季休業中や秋にかけて、複数の市町村での研究会や県全体、全国大会なども行われています。（昨年度、今年度についてはコロナ禍により、文書やりモート開催の場合があります）

